
第 3 章

「ごちジャパプロジェクト」広報活動に関する報告

- HP・Facebook・クックパッドの Web 媒体の解析から -

概要

今回の事業では、Web 媒体（HP・Facebook・クックパッド）を中心に広報活動を行った。最近の Web 媒体には解析機能があり、アクセス数だけでなく、アクセスしたユーザーの男女比や在住地域なども分かる。これらのデータから考察し、今後の食育活動へ活かす。（※各 Web 媒体のアクセス数などは別紙参照。）

目的

Web 媒体（HP・Facebook・クックパッド）や紙媒体（ごちジャパ News!・食育ハンドブック）を通して「日本型食生活」の認知度を高めると同時に食や農林水産業への理解を深めることを目的とする。

広報活動を媒体別で説明

Web 媒体（HP・Facebook・クックパッド）

HP「ごちジャパプロジェクト」

この HP では、「プロジェクト内容」「日本型食生活とは」「ごちジャパ活動報告」「ごちジャパデータベース」とページを設けた。事業内容や日本型食生活の説明を入れた。この食育活動の認知度を高め、活動報告を兼ねて事業で実施した活動を掲載許可がおりたものを随時「ごちジャパ活動報告」ページに更新した。また、農林水産業への理解を深め、消費活動を促進するため、「ごちジャパデータベース」では京都府の中丹地域で農業や漁業関係を営んでいる生産者などを取材した。

Facebook ページ「ごちジャパプロジェクト」

Facebook に「ごちジャパプロジェクト」ページを作成。HP・クックパッドで更新したページリンクを上げ、活動の予告や広報をした。

クックパッド「+1 サラダバー」

どの世代でも言えることだが、野菜が不足している人が多い。このため、クックパッドでは「+1 サラダバー」と称し、「日本型食生活」を実践できるように不足しがちな野菜を中心とした副菜レシピを作成し、投稿した。企業での食育活動に入る前は品目の少なめな簡単にできる時短レシピを中心に上げていたが、企業の食育活動に入り、昼食時で副菜を提供しはじめてからは提供した副菜のレシピの更新を行った。

DTP（紙）媒体（ごちジャパ News!・食育ハンドブック）

配布テキスト「ごちジャパ News!」

企業での食育活動では「ごちジャパ News!」とタイトルで、さまざまな食に関するテーマでテキストを配布。HP や Facebook などの Web の QR コードを記載し、HP や Facebook、クックパッドとの連携を計った。

食育ハンドブック

食育の実践者を増やすため、ハンドブックを作成。食育の企画～実施までの流れをまとめ、今回行った食育活動の中からピックアップし、手法とともに紹介している。

広報活動全体像

HP「ごちジャパプロジェクト」



総アクセス数：3,821
ページ閲覧数：6,989
(平成27年6月30日～平成28年3月21日)

Facebook「ごちジャパプロジェクト」



総アクセス数：12,187
総閲覧回数：29,590
(平成27年6月5日～平成28年3月21日)

プラスワン クックパッド「+1 サラダバー」



総アクセス数：22,282
投稿レシピ数：15
(平成27年7月15日～平成28年3月21日)

Web



HP・Facebook・クックパッドの
QRコードを製作し、テキストに掲載。

※各 Web 媒体の詳しいアクセス数などは
別紙参照。

配布テキスト「ごちジャパNews!」



食育ハンドブック



配布場所：4ヶ所（長田野工業団地を中心に配布）
配布部数：約7,000部
テキストテーマ数：14

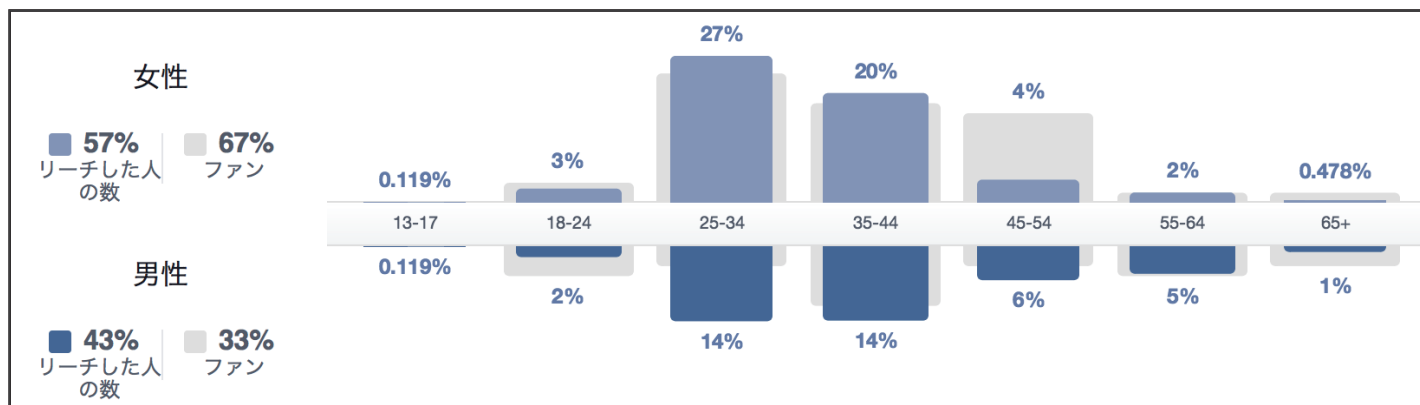
サイズ：A5判
ページ数：52ページ
非売品
事業報告として配布

DTP

Web 媒体にアクセスした男女比・年齢層

HP・Facebook の閲覧した男女比を比較すると、Facebook では女性が 6 割近く投稿を見ていることが分かるが、HP では男女ともほぼ半々のユーザーがアクセスしていることがわかる。(グラフ 1・2)

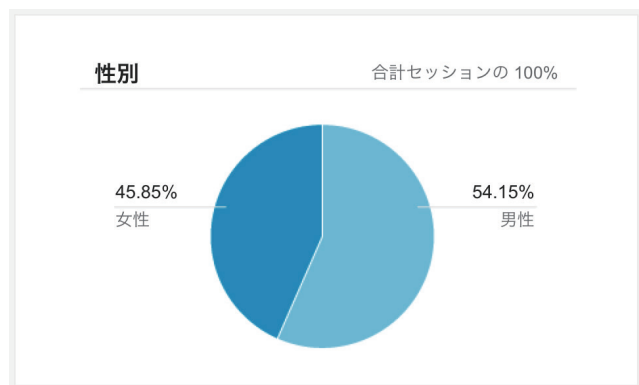
年齢層を見ていると、HP・Facebook どちらも 10 代後半～40 代前半の閲覧が目立った。特に 25～34 歳の年齢層が多いことがわかる。この事業では青年～壮年世代に力を入れた活動をしていたので、ターゲット層が閲覧していたことでは成果を上げたといえる。(グラフ 1・3)



グラフ 1：Facebook ページ「ごちジャパプロジェクト」のアクセスしたユーザーの男女比および年齢層

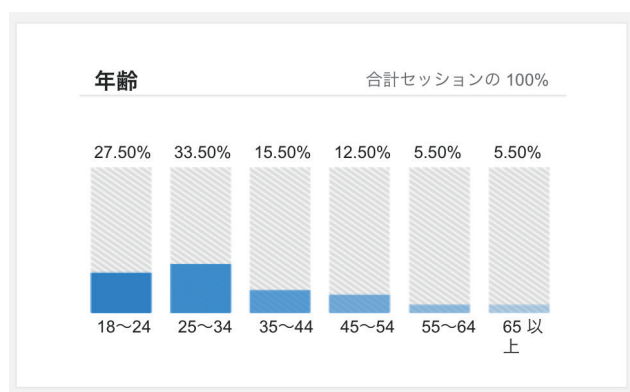
(Facebook より / 解析期間：平成 27 年 6 月 5 日～平成 28 年 3 月 21 日)

Facebook ページのインサイト機能による解析では、利用者の男女比・年齢層は過去 28 日間の解析となる。このグラフは平成 28 年 2 月 27 日～3 月 27 日までの期間にアクセスした 18, 173 人とページに「いいね！」をしている 54 人の解析となる。



グラフ 2：HP「ごちジャパプロジェクト」のアクセスしたユーザーの男女比

(Google Analytics より / 解析期間：平成 27 年 6 月 30 日～平成 28 年 3 月 21 日)



グラフ 3：HP「ごちジャパプロジェクト」のアクセスしたユーザーの年齢層

(Google Analytics より / 解析期間：平成 27 年 6 月 30 日～平成 28 年 3 月 21 日)

HP の解析には、Google Analytics を使用した。Google Analytics は解析期間を設定することができるため、ここでは平成 28 年 6 月 1 日～平成 3 月 27 日とした。「セッション」とはアクセスしたユーザーがページを見始め（アプリを起動しはじめ）、回遊し、他のサイトへ行く（離脱する）、といった開始から終了までの、関わっている期間である。Google Analytics では期間内の合計アクセス数を指す。このグラフは設定した期間の総合アクセス数 3,821 のデータ解析となる。

アクセスしたユーザーの地域解析

Facebook では利用者が名前や誕生日、在住地域などの個人情報を登録し、それらの情報からデータ解析を行っていると思われる。一方、Google Analytics のユーザーの地域解析は計測対象サイトにアクセスしたユーザーの IP アドレスから在住地域などを解析していると考えられる。そのため、正確に細かい地域がわかる GPS のような精度ではないと思われるが、貴重なデータにあることにちがいないので報告を行いたい。

アクセスしたネットユーザーの地域は日本が多いが、外国のユーザーも閲覧していることがわかる。SNS である Facebook では、外国の人とつながっている日本のユーザーが投稿に対して「いいね!」などをしたことで、外国の人も閲覧したことが考えられる。だが、SNS のようなつながりがない HP で閲覧したユーザーが日本に次いでアメリカ合衆国が多いことは驚きである。(表 1・2)

閲覧したユーザーが在住している日本の地域を細かく見ると、京都府の中丹地域を中心にした食育活動だったため、京都府に在住するユーザーが多い(表 1・3)。次いで多いのは隣の県である大阪府や兵庫県に在住しているユーザーだった。関西地域に在住するユーザーが閲覧したことは納得できるが、東京や神奈川、愛知といった関東地域のユーザー、外国のユーザーも閲覧していることを思うと、身近な地域ではないユーザーにもこの活動が知るところになったのはネットの力といえる。

国	リーチした人...	市区町村	リーチした人...	言語	リーチした人...
日本	803	Kyoto京都市	88	日本語	765
オーストラリア	5	Osaka大阪市	47	Japanese (Japan Kansai)	27
アメリカ合衆国	3	Kyoto舞鶴市	40	英語(米国)	22
韓国	3	Kyoto福知山市	34	英語(イギリス)	13
イギリス	2	Hyōgo PrefectureKobe...	33	韓国語	4
ブルネイ	2	Kanagawa横浜市	30	フランス語(フランス)	2
カナダ	2	Hyōgo PrefectureTamb...	20	ギリシャ語	1
インドネシア	2	Tokyo町田市	16	スペイン語	1
ミャンマー	2	Fukuoka PrefectureFuk...	14	インドネシア語	1
タイ	2	Kyoto PrefectureYosa-...	14	ポルトガル語(ポルトガ...	1

表 1：Facebook ページ「ごちジャパプロジェクト」のアクセスしたユーザーの地域解析
(Facebook より / 解析期間：平成 27 年 6 月 5 日～平成 28 年 3 月 21 日)

Facebook ページのインサイト機能による解析では、図 1 と同様に過去 28 日間の解析となる。この表も平成 28 年 2 月 27 日～3 月 27 日までの期間にアクセスした 18,173 人の解析となる。表に書かれている「リーチした人」とはアクセスした人のことである。用語に関する詳しい説明は別紙参照。